



令和五年 皐月

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

「自律・進取・友愛の気概溢れる我らが学び舎“チーム城北”の創造」

校長 和田 卓也



早いものでもう4月が終わろうとしています。生徒たちも、新しい生活に徐々に慣れてきた様子で、授業や部活動の様子を見に行くと気持ちの良い挨拶を返してくれる場面が増えたように感じております。

いよいよ、学校が本格的に動き出します。そこで、今年度の学校だよりは、校長が変わった年である点を踏まえ、学校の教育活動等を通して、本校の学校経営方針等をお伝えできるような内容にしていきたいと思っております。そこで今回は、4月13日(木)に実施した「出会いの広場(在校生が、新一年生に、委員会活動や部活動等について紹介等を行うことで、新1年生を歓迎する会)の最初に話した校長挨拶を一部抜粋で載せさせていただきました。

【「出会いの広場」校長挨拶より一部抜粋】

さて、いきなりですが、みなさんは、昇降口に掲げてある、「自律・進取・友愛の気概溢れる我らが学び舎“チーム城北”の創造」といういわゆる「城北中のキャッチフレーズ」を見たことはあると思います。でも、意味をきちんと理解している人がどのくらいいるのでしょうか。キャッチフレーズは、掲げるだけでは意味がありません。きちんと意味を理解し、日々の生活の中に落とし込んでいくことが大切です。せっかくの機会なのでみんなで確認してみたいと思います。

まず初めに、「自律」とはどういう意味でしょうか。これは、簡単に言うと、「自分で考えて自分自身をコントロールできること」という意味です。人間だれしも、弱い心を持っていますよね。例えば、「今日の部活は、さぼって帰ろう。」とか、「ルール違反だけど、やっちゃおう」とか…そんな弱い心に負けず、正しい行いができることを指します。

次に、一つ飛ばして、「友愛」とはどういう意味でしょうか。これは、読んで字のごとく「友を愛する」ですので、仲間を思いやる。大切にすること。という意味です。集団で生活する中で、みんなが幸せになるためには、絶対に欠かせない大切な態度ですよね。

最後に、「進取」とは、どういう意味でしょうか。実は、この言葉は私もあまり使ったことがなかったため、改めて調べてみました。すると、自ら進んで取り組むという意味だということがわかりました。何事も「やらされている」間は、実はあまり効果が出ないものです。「自分から取り組む」となった時、飛躍的に効果が表れるもので、とても大切な姿勢だと思います。

では、このキャッチフレーズを、生徒会活動や部活動や委員会に当てはめると「自律・進取・友愛の気概(強い意志)の溢れる生徒会活動・部活動・委員会活動」となります。大変だと思っても、弱い心に負けず、自分を正しくコントロールして、自ら進んで取り組み、仲間を思いやり大切にすること。これができれば、とても意味のある活動になるはず。結果もついてくるはず。充実した学校生活にもつながるはず。皆さんが「自律」・「進取」・「友愛」の気概溢れる生徒会活動や部活動、委員会活動にしてくれることを期待しています。

この「自律・進取・友愛」は、学校生活の中で常に関わってくるとても大切なキーワードであると考えます。そこで、今年度は、様々な機会を通じて、このキーワードを生徒たちに意識させていくつもりです。是非、ご家庭でも、折を見て、この「自律・進取・友愛」にからめたお話を頂けると幸いです。最後になりましたが、明日から、ゴールデンウィークが始まります。新年度の疲れもたまっていることと思います。有意義なりフレッシュ期間にして頂きますようお願い申し上げます。